

太子町教育委員会／令和5年9月定例会議事録

日時及び場所

- 日時 令和5年9月29日（金）
開会時間：午前9時30分
閉会時間：午前10時40分
- 場所 役場庁舎3階 第1会議室

会議に出席した者の職氏名

- 出席者
教育長 中道教育長
委員 仲野教育長職務代理者、上籾委員、明石委員、山崎委員
事務局 池田教育次長、武部教育総務課長兼学校給食センター所長、
矢野教育総務課学務指導担当課長、吉村教育総務課長補佐、
内藤教育総務課主査
- 欠席者
東條生涯学習課長
- 傍聴者
なし

議題

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 教育長の報告
- 日程第3 報告第5号 令和4年度一般会計決算（教育委員会関係）について
- 日程第4 諸般の報告（その他）

中道教育長

皆さん、おはようございます。

それでは、これより教育委員会9月定例会を開催します。

まず、【日程第1 会議録署名委員の指名】をいたします。本日の署名委員は、【明石委員】をお願いいたします。

続きまして、【日程第2 教育長の報告】について報告申し上げます。

中道教育長

本日、3点ございます。

1点目でございます。各校園の運動会・体育大会が、明日の町立中学校を皮切りに始まります。ご予約の付く限り、子どもたちの練習の成果をご覧いただければと思っています。一時期、結構な時間をとって、運動会の練習を確保したのですが、最近は、教育課程全体のバランスもあり、練習時間等は、その頃に比べると短縮しています。しっかりと熱中症対策をして、子どもたちにとって無理のないようにと先日の校園長会で指示しています。どの子にも、達成感のある行事になることを願っています。なお、磯長小学校、山田小学校については、来年度は運動会について、同じ日に開催できるよう、調整を指示しております。

2点目でございます。年度の折り返しを迎えています。教育課程の進行管理を校園長をお願いしています。年度末の時点で、未履修（当該学年のカリキュラムにおいて、学んでいないところがないように）してくださいと各校長に指示しています。

3点目でございます。金剛バスの路線バス事業廃止についてです。9月11日、金剛バスが今年の12月20日をもって廃業すると発表しました。現在、把握しているところでは町立学校園で5人の教職員が金剛バスを使って通勤をしています。また、通学で使っている高校生もおります。近々に、近畿運輸局、大阪府、太子町を含む4市町村に、金剛バス、近鉄バス、南海バスを加えての協議会が行われます。12月21日以降も、これまでどおり教職員が通勤できるよう協議会の動きを見守りたいと思います。また、協議会の動向等については、教育委員会でも報告をさせていただきたいと思っております。

以上です。

中道教育長

ただ今の件につきまして、ご質問等ございますか。

仲野教育長職務代理者

小学校の運動会の日程について、以前は、同じ日に開催されていたと思うのですが、いつから別々の日になったのですか。

中道教育長

今回です。どこまで遡るのかということもありますが、私どもが知る限りは同じ日で開催してきました。今回、それぞれ学校の教育課程、修学旅行等の日程や児童数も異なるため、例えば、磯長小学校では体育館

- 中道教育長 　　で1つの学年全体が練習をすることが難しいこと等、少しずつれてしまったというのが、今回の事情でございます。
- 仲野教育長職務代理者 　　来年度は戻すのですか。
- 中道教育長 　　来年度は合わせるように調整をします。
- 明石委員 　　もし、日程の調整ができるのであれば、今回の磯長小学校の後ろにずれた日程を案にしていただけたらと思います。これだけ暑い日が長くなると、昨日だったと思うのですが、小学校の運動会で体調不良が出て、15人搬送されたというニュースがありました。
　　春に移した学校でも、体が慣れていないので熱中症の危険があり、秋、従来通りに行っても猛暑日が長く延びているということを考えると、可能であれば日程を考えて、見直すということもいいのではないかと思います。
- 中道教育長 　　町の行事も色々入っている中で、決めないといけない部分もありますが、基本的には両小学校の意思、思いを大事にしながら、決めたいと思います。
- 中道教育長 　　その他、ご質問等ございませんか。
- 明石委員 　　金剛バスの件について、他の市町村も全国的に今、大きくニュースで取り上げられてますけれども、どこも同じ悩みで、高齢化が進むと運転免許の関わりで、どうしてもバスが必要な人が出てきますので、そういう点で、町としてどうしていくかということは、かなり大きな課題になってくるかと思っています。これについて、町としての新たな動きは出てきているのですか。
- 池田教育次長 　　私も聞いた話なのですが、これまでも金剛バス路線が増えたり、コミュニティバスを走らせたり、ここ数年の取り組みについては、この地域の交通をどうしていくのかということを、民間事業者である金剛バスも含めてどれだけカバーしていけるのかという論議を続けて、今の運行形態になりました。もちろんその時点では、金剛バスが廃業するという話も全くなかったことで、今回、突然廃業するということを聞きました。今後は、廃業を前提に公共交通会議で、町の公共交通をどうしていくのかということについて議論されていきますが、今の方向性としては、この1市2町1村が共同で対策を打つという方向で、協議をされていると思います。単純に言えば、金剛バスの路線をどこか別の業者がそのまま事業継承してくればよいのですが、他のバス会社も運転手不

池田教育次長 足、その上、赤字路線なので、当然、その赤字路線を引き継ぐということはないと思いますので、今の方向性としては、市町村がコミュニティバスを走らせて、それを民間事業者に運行だけをお願いするというような形で動いていると聞いています。ただ、やはり問題になってくるのが、他のバス会社に運行だけを委託するにしても、運転手不足については、近鉄バスも南海バスもどこも同じ状況のようです。大手なので、それなりの人数を雇用しているとは思いますが、余剰人数は当然ないという状況です。それから、金剛バスのインフラをそのまま移してやっていけるのなら、それなりに費用は安く済むかもしれませんが、金剛バスの車両がすでに老朽化しているので、当然4市町村にバスを走らせることになる、インフラの整備、要は、バスの車両、車庫の確保等々もしないといけなくなってくるので、初期投資プラス初年度のランニングコストとして相当な金額が必要になってくるというところで、今後どうしていくのかということ、4市町村共同で考えていくことになっているそうです。

明石委員 太子町に住む人は、車を持って生活することを前提にされてる方が多いと思います。バスが走っていても、本数が少ないとか、あるいは、夜9時ごろに運行が終わってしまうとか、やはり家に車がないと生活に支障があるという形になってしまいます。ただ、車を持って生活していても、いずれ車の免許を考えないといけない時期がやってきます。そういったことを考えると、ここに新しく住もうと考える人は、その辺がちょっと引っかかるところで、将来長くは住めないなという感覚を持たれると思います。太子町は人口減をくい止める対策として、公共交通について検討していただければと思います。

中道教育長 はい、ありがとうございます。

中道教育長 その他、ご質問等ございませんか。

中道教育長 無いようですので、続きまして、【日程第3 報告第5号 令和4年度一般会計決算（教育委員会関係）について】説明を求めます。

池田教育次長 一般会計決算ということになってますが、併せて、9月議会の報告もさせていただきますと思います。最初に、9月議会の報告からさせていただいて、その後段で一般会計決算について報告いたします。

今9月定例議会は、9月1日から28日までの28日間の会期で開会され、報告案件が「令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件」の1件、事件議決案件として、「太子町立公民館解体撤去工事請負契約締結の件」、「柏原羽曳野藤井寺消防組合への加入に

池田教育次長

関する協議について」の2件、決算認定案件として「令和4年度一般会計歳入歳出決算認定」他6件、条例案件として「太子町子ども・子育て会議条例中改正の件」及び「太子町空家等対策協議会条例中改正の件」の2件、補正予算案件が令和5年度一般会計補正予算（第5号）他2件、「太子町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件」の人事案件1件、また会期中に追加議案として、「太子町国民健康保健条例中改正の件」、「一般会計補正予算（第6号）」、「太子町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」の3件、議員提出議案2件が追加され、審議が行われました。

教育委員会関連案件は、後段で報告させていただきます「令和4年度一般会計決算認定」、「太子町立公民館解体撤去工事請負契約締結の件」及び「一般会計補正予算（第6号）」の3件となっております。

「太子町立公民館解体撤去工事請負契約締結の件」は、このたび株式会社前田産業が4,649万9,200円で落札した、公民館の解体撤去工事の契約の議会同意を得るものです。また「一般会計補正予算（第6号）」については、故障により緊急に必要となった町立中学校のキュービクル改修工事として492万8千円、町立幼稚園に支援を必要とする園児が入園することになり、職員だけでは安全確保等の問題があるということで急遽、介助員1人を追加採用することになり、その人件費134万7千円を増額する案件となっております。

次に、一般質問については、教育委員会関係では村井議員から1件、共産党の2議員から2件、辻本博之議員から1件の計4件が出されました。

まず、村井議員からは「学校給食のアレルギー食対応について」の質問でした。答弁では、私から太子町食物アレルギー対策委員会を中心に対応を行っている本町の給食の現状について説明し、今後も引き続き学校や保護者の意見を聞きながら、食物アレルギーに対応したメニューの作成等を進めていくと答弁しております。

次に、藤井議員からは「ヤングケアラーの実態調査を」として、3月に大阪府がヤングケアラーの担当部局課長会議を開催して以降の、ヤングケアラーの対応について質問をされました。本件については、学校における対応も含め、健康福祉部長からまとめて答弁を行っています。答弁では、「大阪府ヤングケアラー支援推進方針」の内容と、それに沿った本町の対応について答弁をおこなったところです。小中学校においては、スクールカウンセラーの配置を行い、ヤングケアラーに限らず、児童の問題事象全てについての把握を行い、関係部署との連携を図っている実態について答弁しました。

再質問では、ヤングケアラーに特化した相談窓口の設置やアンケートの実施について問われましたが、現状の体制の中で対応ができていると考えており、専用相談窓口や実態調査を行う予定はないが、先進事

池田教育次長

例の研究を進めながら、対応を進めていくと答弁を行いました。なお、本件に関連しては、議会最終日に議員提出議案として、国会宛の「ヤングケアラー支援を求める意見書」が共産党の西田議員と賛成者として5議員の連名で提出され、採択をされたところとなっています。

次に、共産党の西田議員からは「住民のための生涯学習センターに」と題して、1問目に8月に生涯学習課が開催した利用者との懇談会の内容について、再質問では、教育行政のトップである教育長に対して、生涯学習センターの利用料に関する見解を問われました。1問目では、8月に出された要望書とそれについての懇談会に関する対応についての質問でした。要望の内容とその対応について答弁し、生涯学習課が管理をしている他の社会教育施設と同様に必要なメンテナンスと改良を行い、適切な施設運営に努めていくと答弁しました。再質問では、既に議決されているセンター使用料について、無料の主張を繰り返されており、施設に関する根本的見解について、教育長に問われました。教育長からの答弁では、公民館の歴史的背景や社会教育法や教育基本法の解釈、受益者負担の考え方、社会的なニーズ等の観点から、共産党の主張する「公民館は無料が当たり前」や「受益者負担の原則は、教育施設にはあてはまらない」等といった考え方は、現状ではそぐわず、昨年の3月議会で議決いただいたとおりであると答弁しました。また社会教育・生涯学習の目的は何もかもを無料で提供すべきという意図ではなく、学習者の主体的・自発的に行われる学習意欲を醸成するものであると答弁しております。

次に、公明党の辻本博之議員から、「太子町での熱中症対策は」として、1問目で猛暑が続く中、学校の普通教室におけるエアコン設置状況と学校における熱中症対策について、再質問で高齢者における同内容についての質問でした。1問目の学校に関する点については、私から町立小中学校におけるエアコンの設置率は100%であり、熱中症事故防止に関する通知を行い、環境面での判断やハードにおける対策を行っている学校の現状を答弁しました。議員の質問では、対策グッズの配布を施策として行ってはどうかとの提案を受けましたが、登下校時については家庭の協力も得た対応も行っており、現状問題はなく、今後、他市町村の事例も参考にしていくと答弁しております。

以上、今議会の報告とさせていただきますが、一旦切らせていただいて、これまでのところで質疑があればお受けしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

中道教育長

ただ今の件につきまして、ご質問等ございますか。

中道教育長

ないようですので、続いて申し上げます。

それでは続いて、「令和4年度一般会計決算（教育委員会関係）」についてご説明申し上げます。

お手元の資料をご覧いただきたいと思います。

まず、一般会計決算の状況ですが、令和4年度の歳入決算額は65億7,477万8,389円、歳出は64億19万6,462円、繰越を除いた、差引、実質収支額としては1億6,588万6,927円の黒字決算となっております。令和3年度決算額と比較しますと、歳入では8,963万8,712円で1.4%の増、歳出では1億2,312万8,051円で2.0%の増となっております。この主要因は、歳入の面では、前年度に比べ地方特例交付金で1,543万7千円、国庫支出金で1億29万5千円、繰入金で1億1,088万2千円、町債で3億2,543万6千円の減となったものの、町税で1,903万6千円、地方交付税で1億6,277万2千円、財産収入で4,279万3千円、寄付金で2億4,993万9千円の増となったこと等によるものです。

歳出では、前年度と比べて、議会費で1,243万8千円（13.7%）、総務費で7億2,804万4千円（72.3%）、農林水産業費で382万円（8.1%）、商工費で3,020万9千円（30.3%）、消防費で3,501万4千円（14.3%）の増となりました。一方、民生費で9,492万4千円（4.3%）、衛生費で2,368万円（4.4%）、土木費で3,815万1千円（12.0%）、教育費で5億574万9千円（39.4%）の減となっております。

それでは、教育委員会所管事項の決算内容の説明をさせていただきます。

まず、令和4年度の歳入決算額ですが、下段の表の歳入の3列目、「比較」欄をご覧ください。令和3年度に比べ1億7,732万3,343円、57.8%の減収で1億2,990万8,282円となっております。また歳出では、5億574万9,067円、39.4%減の7億7,948万2,668円となっております。幼稚園空調機改修事業、生涯学習センター建設事業の減が主たる要因となっております。

次頁をご覧ください。4頁にかけて教育委員会関係の主要施策について、記載をしてございます。主だったところについて、ご説明させていただきます。

まず、学校教育関係ですが、2頁の表の一番上、教育振興事業の英語検定試験検定料補助です。令和3年度から小学生や私学等へ通う子どもたちへも補助の範囲の拡大を図ったところですが、4年度は町立小学校で29人、私立小学校で1人、府立中学校3人、私立中学校1人の助成を行っています。

6段目の磯長小学校改修事業のトイレ改修工事は、平成31年度から着手した学校トイレ改修事業の3期目として、磯長小学校の新館校舎のトイレ改修工事を実施しました。磯長小学校のトイレ改修工事は今期で最終となり、令和5年度からは山田小学校に移っています。

各学校の教育振興事業の欄に記載しております個別学習用A Iドリル導入は、令和2年度から取り組んでいるG I G Aスクールネット

ワーク構想の一環として、A Iドリルの導入を行ったものです。学校園のI C T化に関連しては、3頁の上から4段目、幼稚園I C T環境整備事業で、府費補助を受けて町立幼稚園においても通信ネットワーク環境の整備と端末機器の導入を行っています。

就学援助事業では、磯長小学校が499万5千円、山田小学校が200万9千円、中学校が772万1千円となっており、前年度と比べ磯長小学校で42万2千円9%増、山田小学校では36万円18%減、中学校では21万7千円で2.7%減となっております。概ね、横ばいの状況でございます。

3頁の上から5段目の預かり保育事業171万6千円は、町立幼稚園において平成26年度から実施しております預かり保育に係る指導員の賃金です。預かり保育の利用実績としては、延べ人数で2,283人の利用がありました。令和3年度が1,930人でしたので、コロナの影響もあるとは思いますが、若干の増となっております。

表の一番下、学校給食運営事業7,197万8千円は、学校給食運営委員会の経費や、給食調理配送業務委託料等、学校給食の実施に係る経費を支出しています。年間189,459食の提供を行ないました。

3頁の中段にあります「(2)生涯にわたり学べる環境づくり」の3段目、生涯学習センター維持管理事業、その下の生涯学習センター活動事業は、昨年7月にオープンしました、生涯学習センターの維持管理及び事業に関する経費となっております。センターの利用者数は25,230人、前後期の教室や子ども教室の参加者は延べ804人となっております。

図書室運営事業1,248万1千円は、図書室の運営に係る職員人件費や図書購入費等で、令和4年度の購入図書は14,450冊、年度末現在の蔵書数は5万293冊となっております。

総合スポーツ公園の利用者については、スポーツ公園維持管理事業の事業内容欄に記載のとおり、グラウンドで3万2,508人(令和3年度:23,731人)、総合体育館で5万827人(令和3年度:55,433人)、テニスコートで7,433人(令和3年度:4,432人)となっており、前年度に比べていずれも相当数延びており、新型コロナウイルスによる影響から脱しつつあると言える状況となりました。

4頁をご覧ください。

「(3)地域への愛着心の醸成」の3段目、国指定史跡二子塚古墳保存整備事業3,937万1千円は、保存整備検討委員会委員5人分の報償費や委員旅費等の委員会経費の他、4年度より着手しました史跡の保存整備工事業費となっております。

歴史資料館運営事業66万9千円は、竹内街道歴史資料館の運営経費で、入館者は3,139人(令和3年度:3,435人)となっております。なお企画展については、下段に記載のとおり、「近世山田村の暮らし」をテーマに開催しました。

池田教育次長

5頁、6頁には国の地方創生臨時交付金等を活用して実施した新型コロナウイルス感染症関連事業について列記しております。教育委員会関連については事業名を太字としております。各種衛生用品等の購入等は除き、主だった事業について、ご説明申し上げます。

まず2段目の町立学校園給食費無償化事業3,297万3千円は、(令和3年度:1,494万9千円)は、感染症まん延による保護者負担軽減のため、1・2学期中及び3学期は値上げを行った分の町立学校園の給食費無償化を実施した経費となっております。

5段目の修学旅行等費用補助事業は、密対策のためのバス増便分の費用や、コロナのために修学旅行が中止となった際のキャンセル料金や保険料の助成を行ったものです。

9段目、ICT支援員配置事業は、GIGAスクールで整備を行ったタブレット活用のため、授業等のサポートを行う巡回のICT支援員を町立学校に配置したものです。

次頁の8段目、新入学応援緊急給付金事業615万円は、令和2・3年度に引き続き、新型コロナの長期化による子育て家庭の支援のため、新小学1年生・新中学1年生となる子どもの世帯に新入学応援緊急給付金の支給を行ったもので、1人当たり3万円の給付を行いました。

以上で令和4年度一般会計決算(教育委員会関係)についての説明を終わらせていただきます。

中道教育長

ただいまの報告、令和4年度一般会計決算について、ご質問等ございますか。

中道教育長

無いようですので、続きまして、【日程第4 諸般の報告(その他)】について説明を求めます。

それでは、まず教育総務課長。

教育総務課
武部課長

はい、私から3点報告させていただきます。

まず1点目ですが、資料をお配りしております。令和6年度の町立幼稚園園児募集状況についてです。現在13人の方が入園申込書を取りに来られており、うち4人の方が申込みを済ませております。残る9人のうち、4人は兄弟が町立幼稚園に在園されておりますので、入園が見込める状況です。よって、8人は恐らくですが、確定の見込みとなっております。1人でも多くの方に入園していただけるよう、引き続きPRを行ってまいります。

2点目です。先ほど教育長より報告がありました町立中学校の体育大会、山田小学校の運動会のプログラムをお配りしております。

中学校につきましては、明日30日土曜日8時45分開会、山田小学校は、明後日1日、日曜日9時開会となっておりますので、お時間の都

教育総務課
武部課長

合が合えばご出席願えればと考えておりますのでよろしくお願いたします。

3点目です。資料をお配りしております。「令和5年度南河内地区市町村教育委員会研修会」の開催のご案内でございます。日時につきましては、11月6日月曜日午後1時30分から午後3時40分となっております。開催場所は、羽曳野市にあります四天王寺大学・四天王寺大学短期大学です。研修内容ですが、3部構成となっております、第1部では講演として「大阪の今後の教育について」、第2部では意見交換会、第3部では四天王寺大学の施設見学となっております。本日、研修会の出欠確認をさせていただきますが、ご都合いかがでしょうか。

【出欠確認】

教育総務課
武部課長

当日は公用車を用意させていただいております。受付が1時からとなっておりますので、12時30分に役場水防倉庫前にお集まりしていただきますようよろしくお願いいたします。

教育総務課からは以上です。

池田教育次長

学務指導担当課長からは令和5年度全国学力・学習状況調査についてのプレゼンテーションがありますので、先に生涯学習課の報告をさせていただきます。

本日、東條課長は、欠席させていただいておりますので、代わりに私から生涯学習課のご報告をさせていただきますと思います。

生涯学習の事業関連の資料を配布させていただいております。

まず、9月9日に青少年グラウンドで実施しましたわんぱくチャレンジ大会についての報告です。このイベントは山田小学校と磯長小学校で年度ごとに交代で実施しておりますが、今年度は磯長校区ということで、青少年グラウンドで実施させていただきました。参加者は71人でした。

次に、上籾委員も山崎委員も参加をいただいた体連の登山につきまして、9月17日蓬莱山へ行かせていただきました。一般の参加者が24人、付き添いで体育連盟から7人、事務局から2人の参加で実施させていただきました。

その次、寒地稲作成功150周年記念フォーラムということで、先週9月23日の午後から町立万葉ホールで開催させていただきました。太子町教育委員会と北海道北広島市の教育委員会が共催で実施をさせていただきます。本会場が北広島市でございます。それをネットで中継して、太子町会場で見いただくという形を万葉ホールで実施しました。ちなみに、私は向こうの会場で参加をさせていただきました。万葉

池田教育次長

ホールの会場には40人の参加をいただいております。

1枚めくっていただくと、今後の行事予定になってございます。

重複する部分があると思いますので、簡単に説明をさせていただきたいと思います。

まず、以前より申し上げております通り、中山久蔵の寒地稲作成功150周年記念の企画展を、10月7日土曜日から12月3日日曜日まで、資料館で開催させていただきます。

それから、10月28日29日に開催される文化祭について、新型コロナウイルスの規制・制限が緩和されたので、例年通りの形で開催予定です。演芸15団体、展示が33団体で開催いたします。文化祭と同時で開催しております菊花展は、10月24日から11月7日、万葉ホールの上のイベント広場で開催します。表彰式については、10月26日に実施予定です。

町立図書館で、10月28日29日に「まだ読め〜るフェア」を開催します。ブックリサイクルのフリーマーケットのようなものです。

別紙で案内を添付しております生涯学習センター太子の森の後期教室につきましては、一般教室5教室と子ども対象の教室2教室を開催します。

次も恒例事業になってきております、FC大阪公式戦の無料観戦チケットプレゼントにつきましては、今回は太子町民応援デーということで開催をします。J3の第34戦ということで、FC大阪と福島ユナイテッドFCの試合が、11月5日ナイターで東大阪の花園ラグビー場で開催されます。町内在住、在勤、在学の方、先着100人に無料チケットの配布を行います。合わせてこの日は町民応援デーということになりますので、町長のキックインセレモニー、エスコートキッズを太子町の子どもたちに、ボールが枠の外に出たときに、試合にボールを戻すボールボーイを町立中学校のサッカー部の生徒にお願いしようかということで今調整をしています。

それから次の頁、エネオスのサンフラワーズ公式戦、女子バスケットボールリーグの無料観戦チケットプレゼントについても去年初めて実施し、今年も、エネオスからお話をいただきまして、2年続けて実施する事業になります。今回はエネオスサンフラワーズとシャンソンVマジックというチームの対戦で、11月11日12日の2日連続開催になりまして、12日がふれあいT A I S H Iと重なってしまっているのですが、この2日間で、岸和田市の総合体育館で開催されます。両日とも先着50人に、無料観戦のチケットをプレゼントします。当日、来場者の受付を生涯学習課が対応します。

次に太子スポーツDayについてですが、昨年まで各クラブの紹介をしたり、町民体育祭の名残で玉入れをしたりしていたのですが、参加者が激減状況で、事業として効果が薄いのではないかということで、今

池田教育次長

年から、タウンロゲイニングというものに変更しました。11月26日に開催予定です。タウンロゲイニング、別の名はフォトロゲイニングと言いますが、オリエンテーリングの写真版のようなものです。写真や絵が載っていて、その場所に行って同じ写真を撮ってくるというスポーツです。ただし、その場所が二上山だったら50ポイント、役場だったら5ポイントといった形で、場所によってポイントが違い、その得点の高さを競います。このスポーツは協会もできて、全国シリーズまで開催されてくるほど盛んになってきており、やってみようかということで今年、開催予定です。

二十歳を祝う会は、平成15年4月2日から16年4月1日に生まれた人を対象に、令和6年1月8日に開催します。

次は、参考でございます。第1回太子芸術祭ということで、西方院さんが軸となり、向少路の町会、有志の方で実行委員会を組織され、西方院一帯で、芸術祭と名乗ってイベントを開催されます。チラシを配布しておりますが、10月13日14日15日と3日間の開催となります。教育委員会も、本堂で資料館の勾玉づくりの出展をさせていただいたり、生涯学習課の木谷が、仏教美術が専門なので、仏像の見方を本堂で講演させていただいたりするようなことも共催でさせていただきます。

最後にその他について、町立図書館の管理システムの入れ替えのため、9月27日から10月2日まで休館いたします。そして、公民館の解体撤去工事の業者がようやく本契約で決まりまして、10月中旬から2月中旬にかけて工事を行う予定をしております。各種の調整、工事の準備等を行っている状況です。

チラシをそれぞれつけておりますので、またご覧いただければと思います。

以上です。

中道教育長

加えて1点お詫びがあります。もうすぐお手元に届くと思いますが、10月号の広報にわんぱくチャレンジャー大会の記事が載っております。こちらの不手際で記事の中にある写真が昨年度のものを載せてしまったということがございまして、本当に申し訳ありません。11月号で何らかの説明、お詫びをさせていただくことになると思いますので、お知りおきいただけたらと思います。同じようなことが起こらないよう、しっかりと対応したいと思っています。申し訳ありませんでした。

中道教育長

ここまででご質問等ございませんか。

上 籾 委 員

二十歳を祝う会について、去年、案内のはがきを送る時に、車いすや通訳が必要かどうかという文章を入れていただければという話をさせていただいたのですが、そのことについてはいかがですか。

回る結果となりました。

続いて前回調査である令和4年度と今年度の小学校の平均正答率の調査結果を比較したグラフです。全国平均を「1」とし、横太線で示しております。2つ並びの棒グラフの左側・薄い網掛けが太子町、右側・濃い網掛けが大阪府でございます。赤色矢印が本年度の町立小学校の結果です。国語科においては、全国平均を大きく上回り、前回調査からも大きな改善が見られました。算数については、大阪府平均と同じとなり、全国平均より若干低い結果となりました。

[一部非公開]

この結果を受けて、私たちは子どもたちに主体的・能動的な学びを経験させるための取り組みを今後さらに充実させる必要があります。具体的なアプローチとして、「家庭学習スタンダードの改訂」等を考えることができます。このような取り組みによって、子どもたちが自らの学びをデザインし、深めていく力を育むことを期待しております。

また、昨年度もお示ししましたが、非認知能力と学力との関係について、非認知能力に関する質問項目に対して、肯定的な回答をした子どもは正答率が高いという傾向がみられました。小中一貫教育の基本方針に示されている5つの実践の柱に対し、今後育成しようとしている「挑む力」や「あきらめない力」、「協働する力や受け入れる力」等の非認知能力が、それぞれ実践の柱を下支えするイメージでございます。幼小中一貫教育の中の取組みの1つとして学力向上を位置づけ、授業改善やリーダー教員の育成等の教員の資質向上に取り組むとともに、家庭学習等子どもたちが主体的に取り組む姿勢を育成していくという視点でも、学力向上に取り組んでまいります。非認知能力の育成というキーワードの元、子どもたちの学ぶ意欲や姿勢を下支えする取組みを推進いたします。

これらの結果、分析を通して太子町の幼小中一貫教育において「めざす子ども像」の実現にむけて、町立幼稚園、両小学校、そして中学校が非認知能力という視点からの一貫した教育を行います。また、学校だけではなく家庭、地域、学校園が協力した教育のトライアングルを土台に、それらが調和することで幼小中一貫教育で育むひとの育成を進めてまいります。

毎月、広報誌へ掲載しています記事もその一環でございます。そして、11月17日にこれらの取り組みを地域の方へ広く発信する場としてのフォーラムも企画しております。幼小中一貫教育の取り組みを太子町立小中学校及び町立幼稚園の教職員が一丸となって、家庭、地域と連携しながら今後も直向きに取り組んでいきたいと思っております。

以上で報告終わります。

中道教育長 以上報告をさせていただきました。何かご意見ご質問等ございませんか。

明石委員 貴重な分析をご説明いただき、ありがとうございました。
非認知能力の目的というものが、非常に今回の学力・学習状況調査の成果に反映されている結果になっています。今後も色々な分析結果を出していただけたらと思います。また、成果とともに課題につきましても、検討された来年度の課題、取り組みの柱となるものについても、併せてご説明いただけたらと思います。

中道教育長 今年度、非認知能力の部分も含めて作らせていただいたのが、今お配りしているパンフレットでございます。保護者や教職員に配らせていただいた後、大阪府等にもPRしていきたいと思います。また、ゆっくりとご覧ください。

中道教育長 他に、ご質問等ございませんか。

中道教育長 無いようですので、本日の日程はすべて終了しました。
次回は、10月30日月曜日午前9時30分から開催させていただきます。よろしくお願いいたします。

会議録の署名

教育長 _____ 印

委員 _____ 印